

# 令和3年度 第1回防府市中小企業振興会議 会議録

日時 令和3年8月5日（木）午前10時から

場所 市役所議会棟3階 全員協議会室

出席委員 13名

欠席委員 1名

事務局 7名

## 1 開会

## 2 委嘱状交付

市長あいさつ

### 【市長】

今年度から第5次防府市総合計画がスタートした。本来であれば、中小企業振興基本計画を昨年度、見直す予定であったが、コロナで中小企業を取り巻く環境が一変した中、コロナ対策を加えた2年間の暫定版としてスタートさせた。今後の計画には、デジタル化の推進やカーボンニュートラルなど新たな課題があるため、これらを踏まえた基本計画を作っていきたいと考えている。

## 3 正副会長選出

### ○ 会議成立の報告

14名の委員中、13名の出席で、防府市中小企業振興会議規則第3条第2項の規定に基づき、本会が成立していることの報告。

### ○ 会議の公開

防府市中小企業振興会議規則第3条第4項の規定により、本日の中小企業振興会議は公開とする旨の報告。

## 4 防府市中小企業振興会議について

### 【事務局】

～ 防府市中小企業振興会議について概要説明 資料1 ～

本市では、中小企業の振興を市政の重要な柱として位置付けており、地域経済を活性化し豊かな住みよいまちの実現に寄与することを目的に防府市中小企業基本計画を平成27年度に制定している。

防府市中小企業振興基本条例に4つの基本理念、8つの基本の方針を掲げ、防府市中小企業基本計画にある基本の方針に基づく8つの目標と具体的な取組及び重点施策は

この基本方針に基づくものである。

本日開催の振興会議は、防府市中小企業振興基本条例第13条に規定されており、中小企業振興策を調査審議するためのものである。

## 5 令和2年度中小企業振興施策の実施状況及び令和2年度防府市の工事・役務・物件契約における中小企業者の受注状況について

### 【事務局】

～ 令和2年度中小企業振興施策の実施状況及び

令和2年度防府市の工事・役務・物件契約における中小企業者の受注状況について  
資料を基に説明 資料2-1、2-2 ～

### 【会長】

令和2年度事業について、委員の皆様の意見をいただきたい。

### 【A委員】

「チャレンジほうふ中小企業成長発展事業」の中小企業サポートセンター（以下、「コネクト22」という。）の現状について、昨年度、コロナの影響でミニ講習会等ができなかったが、気軽に立ち寄れる施設なので好評を得ており、相談件数は887件と非常に多く、どこに相談したらいいかわからない方が、このコネクト22を利用された。相談の中には、第二創業のほか新たな生活スタイルに合わせた相談が多かったと感じている。

一方で、コネクト22に行かれた方は分かると思うが、相談件数に対して、施設が狭いという印象を受けている。コロナ対策ということで、相談者が重複した時は時間を空けて来ていただくなど対策が必要な状況である。

情報発信については、昨年、ホームページは5万アクセスされた。また、DX（デジタルトランスフォーメーション）の時代と言われており、常にタイムリーな国、県、市の様々な情報などをアップしており、アクセス数も伸びているし、フェイスブック等を見て相談に来られる方もいる。

また、新型コロナウイルス感染症関連総合相談窓口について、4月15日に市内で初の感染者が出たが、その2日前の4月13日にはこの窓口を設置しており、5月には1月で661件の相談を受けている。

市と商工会議所が連携した県内でも初の取り組みであり、非常にいろいろな施策に対応した形が取れている。

### 【会長】

相談窓口については、コロナが市内で拡大する前に対策がとれていたということ。コネクト22については、相談件数が伸びていて順調だということだが、例えば、このコネクト22は決算額が予算現額に対して約800万円少ないが、この理由はなにか。

**【A委員】**

講習会の関係で、講師を市外や県外から呼ぶことが出来なかった。当初の予算は、ミニセミナーを月に2、3回行おうとしたができなかった。また、いわゆるリモート対応となると、経費的には旅費等がかからなかった。

**【会長】**

他にご意見はいかがか。

**【B委員】**

今後、第2フェーズの対策が必要になると思うが、A委員が言われたが、コロナ相談窓口の現状は大分減っていると思うが、いかがか。

**【A委員】**

今年4月から7月15日までに450件の相談を受けており、1ヶ月あたり100件程度である。6月の相談件数が208件ということで、4～5月の爆発的な感染拡大に伴って、資金調達を含め経済対策に対する相談があるという状況である。

**【B委員】**

減少していると思っていたが、そうでもないということか。

感覚としては、飲食業界はすごく打撃を受けているような状況で、その他はわりと戻ってきている業種もあると思うがいかがか。

感覚的には飲食業は辞められた方もかなり増えているようであり、1年頑張ってきたが、4月～5月で心が折れた人が結構おられる。いまだに夜の街は全然賑やかになっていないのが現状で、飲食業の方も、うまく波に乗られた方はテイクアウトでうまくいっているし、逆にそれができない方は本当にもう我慢して我慢して、さらに先が見えないという状況になって、やめたいって方が結構いらっしゃるっていうのは聞いている。

前回と同じことをするのではなく、しっかり分析して必要なところに必要な補助をしていくことで、気持ちの部分でも事業継続に繋がるような施策をしていただきたい。

**【会長】**

令和2年度の事業については、当初は大枠としては非常に素早く、いろんな経済対策も含めて順調に進んだのではないかということであるが、コロナの長期化に伴い、特に飲食業を中心に、今後どのような支援を行うかについて、事務局から何かあるか。

**【事務局】**

昨年、コロナにより飲食業等が大変だろうとして施策を行った。これからは、カーボンニュートラルやデジタル化が大きな時代の流れになっていると思っている。

これから頑張る事業者をしっかりと応援していくという中で、デジタル化など新たな課題があるので、時代に応じて、前向きに取り組んでいかなければいけない。

**【会長】**

他に、皆様の意見をいただきたい。

**【C委員】**

目標6の「産業集積の活性化」だが、これはコロナの発生前に立てた計画で動いていると思うが、逆にコロナ禍になって物流が若干防府市も落ちているので、結構なダメージがあると思っているが、一方、最近、倉庫などの建設が多いという印象がある。

これだけコロナの影響がある中で、奨励制度をバネに何かあれば良いと思う。

**【会長】**

実はコロナで逆に物流の方は活気を呈しているところもあるので、拠点整備や拡大などがあると思う。そういう意味で言うと、工業の方はどうなのかということが気になるが、その辺はいかがか。

**【D委員】**

私は、組合の理事長であり、その関連で地元の組合の人達といろいろと意見交換しながら、コロナ対策と景気対策、今後の見通しなどを話し合っている。

鉄工業は割とコロナに関して直接の影響はないが、当然ながら、コロナ対策として、リモート等を進めている。業界として、リモートができる会社と、できない会社がある。また、例えば、DXをやるとすれば、5Gがあればかなり違うのだろうと思うが、これがなかなか進まない。防府市がそういったものを進めていけば、いろんな意味で変わっていける可能性があると思うので、できる範囲からやっていただきたい。

また、人材の確保についても、仕事がある会社とない会社の温度差がどんどん広がる可能性もあるので、対外的な発信、やりとり、特色あるもの、例えばホームページなどの情報内容の充実をどうするかという課題について、組合全体の中でも、利用できる制度を捉えていこうとしている。

それぞれの会社が、中長期的に考えて方向性を出す際に、市と計画や方向性を詰めて、投資をしていくとか、補助を活用するとか、皆が共同で行うとか、そういったことも必要と思う。

**【会長】**

単にその土地とか、建物だけではなくて、5Gとか通信機器などの技術が、どれだけそこで使えるのかということも重要であり、通信環境の整備も必要ではないかというご意見と、もう一つは、人材をどのように集めていくのかということについて、発信ということがもっと必要ではないかということである。

この他、意見はいかがか。

**【E委員】**

雇用の維持でいうと、現在、国の施策として雇用調整助成金を運用している。

ハローワークでの実施状況では、昨年のピークに比べると、半分ぐらいの申請件数で推移している。それに基づいて、バブルであるとかリーマンの時に比べると、離職者は増えておらず、維持が図られていると考えている。

この中で、雇用調整助成金を受けている企業に対して上乘せをするという、雇用安定補助金についてはハローワークも協力し、雇用調整助成金を受けているところに対して、この施策について周知した。

コロナの影響ですべての事業所が雇用の維持で手一杯ではなく、逆に人手不足ですぐにでも来て欲しい事業所もあり、二極化しているという印象である。制度をもう少しうまく使うと人手不足の解消に繋がったのではないかと考える。

#### 【会長】

離職者に対する事業については、手続きが煩雑な面もあったのではないかと。

人手不足の解消は重要ですので、やり方を工夫して進めていただきたい。

#### 【副会長】

産学連携コーディネーターという立場でこの会議に関わっているが、コーディネーターの中で、コロナの影響で新しい事業が難しいということで、途中でやめられるような企業も出てきてコロナの影響を非常に大きく感じる場所である。

昨年の事業については、当初の計画から、コロナ対策が非常に大きくなって予定通りにいかなかったことが大きいと思うが、一方でポストコロナということで、これから一旦落ちた企業をどうやって引き上げていくかというところは、今後重要になる。

その中で、人材の確保について、若者はSDGs、持続可能な社会などに非常に目が向いているので、これは大企業だけではなく中小企業もそれに対する対応がないと、若者がなかなか来てくれないと感じている。

#### 【会長】

コロナの影響で、予算現額に対して決算額が低いものがあるが、これに関して言うと、一つ一つを見ると、例えば、国が指定するメニューに対して補助するという要件が決まっているため執行額が低いものもあるが、大半のものは、需要があっても、なかなか出来なかったこともあるので、非常に厳しい状況であるが、今年もコロナが続く状況であるため、お金が生きるような形で進めていただきたい。

## 6 第5次防府市総合計画の概要(商工関係)及び

### 令和3年度中小企業振興施策について

#### 【事務局】

～ 第5次防府市総合計画の概要版及び令和3年度中小企業振興施策について、資料を基に説明 資料3、4、第5次総合計画(概要版)～

#### 【会長】

令和3年度事業について、委員の皆様の意見をいただきたい。

#### 【F委員】

今からが飲食店は正念場と思っている。

デザインプラザの1階にはもともとカフェがあったと思うが、その施設をうまく活用ができたと思う。例えば、新たに新規事業で飲食店をやりたい方もいるが、新しいメニューを作ったりする場所がないという意見も聞くので、シェアキッチンなどいろいろ活用できればいいと思う。また、ハンドメイドの作品を作る方も多いのでそれを販売して、交流の場ができて、そこから仕事とか活性化に繋がることもあると思う。

コネク22で相談する方は、既に創業している方、ベテランの方が多いと思うが、デザインプラザでは、今から何かをしたい若者が、現実的に創業に向けて何が必要なのか経験ができる場所ができたらいいかと思う。

#### 【G委員】

中小企業の施策のメニューが多数あるが、事業者からすれば、補助金として給付してくれるのか、融資としてお金を貸してくれるのか、それから場合によっては、市の事業に当てはまらにくい、融資として借りたいけど借りられないとなった時には、お店を辞めなくても済むようにするには、返済を待ってもらおうという方法もあると思う。

先ほどA委員が言われたが、相談が増えてコネク22の施設が狭くなっているとのことなので、これだけのメニューがどれだけ事業者に伝わっていくか、情報発信と同時に、それを受ける体制を十分拡充して商工会議所、市役所がタッグを組んで、その体制を充実していかないと幾らここで協議しても、その業者には伝わらないのでその対応をしていくことが必要だと感じた。

#### 【会長】

経営が厳しくなっている企業に対して、アドバイスしてくれる場所がどこにあるのかということをもっと伝えて、そこをより活用してもらえるようになれば、これだけいいメニューがあるのだから、もっと企業が救えるようになるのではないかということですね。

#### 【H委員】

この4月で金融機関の融資がひと段落しているが、1年～3年の据置期間終わった時に返済が困難なケースも想定されるため、本当のコロナの影響が始まると思っている。特に飲食関係は大変だと思うので、それまでに、コネク22や金融機関が寄り添っていろんな相談を受けられる体制を整えておく必要がある

#### 【I委員】

銀行では、お客様、事業所のメインバンクとなっているところが相談を受けて、本部、支店がそれを応援するというような部署ができており、金融機関の位置付けも変わって

きて制度的にも充実しているのです、こういった発信をイメージされているのかをお聞きしたい。

**【会長】**

例えば、その金融機関だけではなく、先ほどG委員は、事業者の計画が順調にいかなくなった時に直接の支援もあるが、相談窓口みたいなどころがあれば良いとのことであったが、その点はいかがか。

**【I委員】**

商工会議所経由で聞くこともあるし、直接お聞きすることが多い。それぞれの得意先係の担当も、ほとんどの事業所についているので、その中でキャッチするか、お聞きするかということは行っている。

**【会長】**

このことについて、意見をいただきたい。

**【J委員】**

市の補助事業で、県の事業と制度内容が類似しているものがあるために利用が少なくなっているものがあるように見受けられるので、そういったものがあれば運用を変えていくなど工夫して良いと思う。

**【A委員】**

融資について、経営者が最終的な決断を行う際に、相談先やどういう相談をすればよいかを自分で判断していかなければならない方が非常に多いので、寄り添っていくということが一番重要で、そういった意味でコネクト22とか総合相談窓口、会議所を含め金融機関というのが、やはり身近に感じると思う。例えば、新たな融資など、とにかく寄り添っていくというところで、相談に携わる人間も企業を常に気にかけているという意識があれば、いろいろな情報発信にも繋がると思う。

一方で、市の融資制度の枠が広がったことで、DX、デジタル化も含めて、これから新たな挑戦していくという頑張る事業者を応援していくことによって、他の事業者の模範となるような事業者を育てていくことがこれからの時代、生活スタイルが変わる中で非常に重要になってくると思う。

**【会長】**

皆様、貴重な意見をありがとうございました。

カーボンニュートラルの取組について説明。

カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの正味の排出量。日本は2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会を実現するとしている。

このカーボンニュートラルの背景は、地球温暖化で、世界の平均気温を産業革命以前に比べて、2050年までにプラス1.5度以内に抑制するという目標があるが、現実的には2030年までにどこまでできるのかが大きなポイントになる。

もう一つ、環境保全だけでなく、グリーン成長戦略があり、特にアフターコロナにおいてどのように経済発展させていくかである。

グリーン成長は、特にエネルギーに化石燃料を使わないとなると、世の中の仕組みを、大きく変えなければならない。つまり、脱炭素社会に向けて、イノベーションを起こして新たな経済成長につなげていくことがグリーン成長戦略である。

これからは、防府市の大企業に関連する工場、企業が、炭素を使わない、エネルギーを使って事業運営をしていくことが重要になってくる。これをやらないと、その工場との契約が外されたり、地場産業がこういうことに対して後ろ向きだと工場そのものの設置の意味がなくなってくるということが起こりえる。

このように考えていくと、カーボンニュートラルを市として進めていかないと、市の経済を支えている大企業が何かの機会に移ってしまうという可能性が出てくる。逆に言うと、こういうことを他の地域よりもより積極的にやる地域であれば、積極的にこの防府市と組んで、工場機能を充実させていこうというふうになっていくということが容易に考えられる。このことを中小企業の振興のこの施策の中に、入れ込まないといけないと思っている。

以上を踏まえて、委員のご意見いただきたい。

#### 【副会長】

これから脱炭素、カーボンニュートラルということが間違いなく、中小企業だけではなく社会全体に求められてくる。

その時に、防府市が遅れていくということは、防府市の人口が減っていくとか、企業が衰退していくことに繋がるので、企業、防府市全体、引いては山口県全体として、きちんと施策をとって取り組んでいかないといけない。

委員の皆様にも認識を持っていただき、これからしっかりと取組みを進めていただきたいと考えている。

#### 【D委員】

カーボンニュートラルの話は、組合でもしている。

実際、太陽光発電を4箇所程度設けて、売電している。自社では、エアコンを全部省エネタイプに切り換えて、2割ぐらい電力費を削減した。それから、今期はLEDに全部切り替えに取り組んでいる。

エアコンの省エネタイプに切り替える時には、補助金を利用して行った。また、LEDについては、水銀灯であればそのまま取りかえれば、即時償却できるということで、そういった優遇的なものがあればかなり進むと思う。これを、国がやるか県がやるか市がやるか分からないが、企業はそちらの方に目を向けている。

ただ、単体でやると非常に負担がかかるので、どうしても今の状況の中でできるところで

きないところもあるが、そういったものを使っていけば促進される可能性はかなりあるだろうと思う。

一概に言えないのは送電網の問題があって、発電をした時に電力が送れないとか、そこには設置できないとかいった面での問題が出てくる。

市が何か優遇的なものができるかどうかは別だろうが、企業としてはそういったものがあればかなり進んでいく可能性は、増えてくると思う。

#### 【副会長】

その件については、県に補助金がある。ただ、4月から5月ぐらいに募集が開始され、すぐになくなってしまおうという状況であり、補助金を設けていただくと防府市の企業は大変喜ばれると思う。

#### 【会長】

補助金だけではなく、先ほど企業誘致の話があったが、確かに土地とか幹線道路は非常に重要な話だが、それと同じように、防府市に来たら、そこで再生可能エネルギーを簡単に調達できると。そのことによって、カーボンニュートラルが容易に達成できるというところは大きなメリットになってくる。そんなようなことも考えながら、いろいろ進めていただければと思う。

#### 【事務局】

次回会議は、10月上旬を予定。

#### 【市長】

～ 閉会の挨拶 ～

本日は、貴重な御意見をいただき感謝申し上げます。

アフターコロナ後の課題、カーボンニュートラルなど、しっかりとサポートして、商工会議所や関係団体と一緒に多くの中小企業振興施策が進むように取り組んでいく。

委員の皆様のご意見を参考にしながら、新年度予算にもしっかりと取り組んでいきたい。

#### 【事務局】

以上で、令和3年度第1回中小企業振興会議を終了する。

会議終了 午前11時55分